

中西佑二先生を偲ぶ

その功績と懐かしいお姿

一般社団法人 モンゴルに日本式高専をつくる支援の会

「一隅を照らす」これ国宝!! (最澄)

- 「ものづくりの街」に**生まれ** (ものづくのメッカ大田区)
- ものづくりを**学び** (高専第1期生)
- ものづくりを**教え** (高専助手から 工学博士 高専名誉教授)
- 日本式ものづくり教育を**海外へ広め** (モンゴル高専創設)
- 日本式ものづくり教育の**世界的評価 押し上げ** (海外通用学位へ)

今や海外で通用する学位へ

第54066号

2026年(令和8年)
6月7日 曜日

THE YOMIURI SHIMBUN

読賣新聞

発行所 読売新聞中部支社 〒460-8470 名古屋市中区栄1-2-1 電話(052)211-1201 www.yomiuri.co.jp

政経4 国際8 巻論6
コラム7 気流12
書評9 1011 家庭33
なびライフ 2627
スポーツ 232425
小説8 13 暮・将棋10

活バス 安全模索 3
くプロジェクト15~18
仏テニス 小田V4 24
ンダロスで再脚光 30
原に願いを 夢のパレード 31

高専卒業に学位授与 学歴、海外でも通用

文科省検討

文科省は、5年制の高等専門学校(高専)卒業生への学位授与を検討する方針を固めた。卒業生は現在、「準士」の称号が与えられているが、これを国際的に通用する学位とすることで、日本の教育機関である高専の価値を高め、卒業生の活躍の場を広げる狙いがある。

文科省は、5年制の高専(高等専門学校)卒業生への学位授与を検討する方針を固めた。卒業生は現在、「準士」の称号が与えられているが、これを国際的に通用する学位とすることで、日本の教育機関である高専の価値を高め、卒業生の活躍の場を広げる狙いがある。

文科省は、5年制の高専(高等専門学校)卒業生への学位授与を検討する方針を固めた。卒業生は現在、「準士」の称号が与えられているが、これを国際的に通用する学位とすることで、日本の教育機関である高専の価値を高め、卒業生の活躍の場を広げる狙いがある。

「飛鳥・藤原」世界遺産へ 古代国家形成遺跡群

イコモス勧告

国連教育・科学・文化機関(ユネスコ)の世界文化遺産に日本が推薦している「飛鳥・藤原の宮都」が、19年の勧告でイコモス(国際文化遺産保護機構)から「飛鳥・藤原」は、飛鳥・藤原の宮都として、ユネスコの世界文化遺産に登録される見込みとなった。ユネスコは、飛鳥・藤原の宮都を、飛鳥・藤原の宮都として、ユネスコの世界文化遺産に登録される見込みとなった。

国連教育・科学・文化機関(ユネスコ)の世界文化遺産に日本が推薦している「飛鳥・藤原の宮都」が、19年の勧告でイコモス(国際文化遺産保護機構)から「飛鳥・藤原」は、飛鳥・藤原の宮都として、ユネスコの世界文化遺産に登録される見込みとなった。

書店1万店割れ 昨年度9993店

全国の書店数が昨年度末、低価格市場の不振の影響で9993店となり、1万店を割り込んだ。出版業界は、書店の減少が深刻な影響を及ぼしているとしている。

全国の書店数が昨年度末、低価格市場の不振の影響で9993店となり、1万店を割り込んだ。出版業界は、書店の減少が深刻な影響を及ぼしているとしている。

書店数の推移

日本出版インフラセンター調べ

年	書店数(万店)
1995	2.5
2000	2.2
2005	2.0
2010	1.8
2015	1.6
2020	1.4
2025	1.2

編集手帳

「編集手帳」は、編集者の生活や仕事に関するエッセイ集。今年も多くの読者に愛読されている。

「編集手帳」は、編集者の生活や仕事に関するエッセイ集。今年も多くの読者に愛読されている。

なびライフ

読者の生活や健康に関する情報を提供するコーナー。最新のニュースや健康情報をお届けします。

読者の生活や健康に関する情報を提供するコーナー。最新のニュースや健康情報をお届けします。

KOSEN スゴイ !! 池上彰がTV番組で解説 !!



天皇陛下 モンゴルコーセン を訪問(去年7月)



モンゴルコーセン技術カレッジ



陛下視察のご様子

- <https://www.youtube.com/watch?v=-2fPE5HrfJo>

日本式高専モデルクラス開講(2013.9)

Daily News
«ӨДРИЙН СОНИН»

ЭНЭ ТУХАЙ

www.dailynews.mn, www.dnn.mn
№ 299 (4626) 2013.12.12 15

Японы "Коосэн"-ийн тогтолцоог нэвтрүүлэхээр ажиллаж байна

2013 оноос эхлэн
Техник Технологийн
Дээд сургууль Японы
"Коосэн"-ийн
тогтолцоог
нэвтрүүлэхээр Япон
улсаас профессор
багийн бэгийг урьж
ирүүлээд байна.
Тус багийн ахлагч,
техникийн ухааны
доктор Ю.Наканиши
багштай уулзаж
ярилчээ.



-Багийнхаа зорилгын талаар ярьж өгнө үү?

-Миний бие дөрвөн жилийн өмнө Японд "Коосэн" төгссөн монгол оюутны "Коосэн клуб"-ийн гишүүдтэй уулзах үеэр Монголд Япон загварын "Коосэн" байгуулах хүсэлтийг ойлгосон. Ийнхүү, ижил хүсэл зорилготой, "Коосэн"-тэй холбоо бүхий хүмүүс нэгдэн Монголд Япон загварын Коосэн байгуулахыг дэмжих нийгэмлэг байгуулсан.

Бид Японы "Сасакава Энхтайваны Сан", "Япон сан", Хоккайдогийн "Томакомэй Коосэн", Нийслэл Токиогийн Коосэн, Коосэн төгсөгчдийн холбоотой хамтран Монголд "Коосэн"-гийн тогтолцоог нэвтрүүлэх үүднээс энэ оны аравдугаар сараас эхлэн Б.Ганбат захиралтай Техник Технологийн дээд сургуульд загвар анги байгуулах ажлаа эхлээд байна.

-Японд "Коосэн" яагаад байгуулагдах болов?

-1960-аад он буюу Япон улсын эдийн засгийн асар хурдацтай хөгжлийн эхэн үед, аж үйлдвэр эрхлэгчдийн зүгээс "Үйлдвэрлэлд инженер техникийн мэргэжилтэн ихээр дутагдаж байсан тул ямар нэгэн арга хэмжээ авах хэрэгтэй байна. Ялангуяа их сургууль төгссөн онолын мэдлэгтэй инженер (цагаан захтан) болон дунд сургууль төгссөн ажилчин (цэнхэр захтан) хоорондын ажлын уялдааг сайжруулах, тэдгээрийг холбож ажиллах чадвартай онол, практик аль алиныг нь мэддэг мэргэжилтэн шаардлагатай байна хэмээн Засгийн газартаа хандах болсон. Үүний үр

дүнд, 1962 онд инженер техникийн онолыг дадлага практиктай хослуулан заадаг "Коосэн" сургууль анх үүссэн билээ.

-Энэ сургууль их дээд сургуулиас юугаараа ялгаатай вэ?

-"Коосэн" нь их сургуулийн боловсролын тогтолцооноос ялгаатай ба нийгэмд хэрэгцээтэй байгаа инженерийг бэлтгэхийн тулд дунд сургуульд суралцагчдаас төгсөгчийг элсүүлж таван жилийн хугацаанд мэдлэг олгодог дээд боловсролын байгууллага юм.

"Коосэн" нь олон салбарын өргөн мэдлэг бүхий боловсон хүчнийг бэлтгэхэд чиглэгдсэн математик, англи хэл зэрэг ерөнхий эрдмийн хичээл болон мэргэжлийн хичээлийг тэнцвэртэйгээр заадаг. Туршилт болон дадлага голлосон мэргэжлийн сургалт явуулдагаараа их сургуулиас ялгаатай байдаг.

"Коосэн"-гийн оюутнууд дипломын ажлаа хийхдээ инженер хүний бие даан судалгаа шинжилгээ явуулах чанарыг өөртөө бий болгохыг зорилгоо болгодог. Үүний үр дүнд эрдэм шинжилгээний хурал дээр илтгэл тавьж болохуйц өндөр түвшний судалгаа хийх тохиолдол байдаг.

Өнөөдөр Монгол улс Японы хурдацтай хөгжлийн эхэн үетэй ижил нөхцөлд байгаа бөгөөд жил бүр ДНБ нь өсч, ашигт малтмал олборлох, зам, барилга барих ажил ид өрнөж байна. Гэвч, инженер техникийн ажилтан ихээр дутагдаж, тухайн эрэлтэд нийцэх боловсон хүчнийг их сургууль бэлтгэж амжихгүй байгаа хандлага байна.

Тиймээс бид Японы "Коосэн"-гийн сургалтын арга барилыг нэвтрүүлэн, богино хугацаанд онол, практикаа мэддэг мэргэжилтэн бэлтгэх зорилготой ажиллаж байна. Одоогоор тус сургууль дээр миний бие механикийн, Х.Нишияма багш цохилгааны, М.Такада багш барилгын, Х.Косүгэ багш гагнуурын чиглэлээр тус тус ажиллаад байна. Он гараад геодезийн болон барилгын багш мөн ирэхээр төлөвлөж байгаа юм.

-Ярилцлага өгсөнд баярлалаа.

Б.БАДАМ



Зочин профессор Х.Нишияма.



М.Такада багш архитектурын багшид дадлагын зааварчилгаа өгч байна.



Х.Косүгэ багш гагнуурын хичээл зааж байна.

授業風景



モンゴルテレビで「モデル教室」が取りあげられました

- <https://www.youtube.com/watch?v=sggcsXnSgDk>
- <https://www.youtube.com/watch?v=cT-k1aLhGCc>

•

モデルクラス学生と先生方



通訳を荒川キャンパスへ案内



初めて日本のマスコミに取り上げられました

2014年5月14日 第三版 読者サービス

読者サービス

2014年(平成26年)2月11日

読者サービス株式会社 2014

4・23開幕

注目イベント②
フォーラム①

レザ加工フォーラム

として実施しているもの。今回は、24日に開催する「レザ加工フォーラム」と「鉄骨加工フォーラム」の概要や見どころを紹介する。受講料は両フォーラムとも1万5000円。

「次世代のものづくりへの対

用CDPRのレザ加工(最新)

▽素材・各種材料とレザ加工技術(大阪大学/片山昭二氏)、超精密加工のレザ加工技術(前田工業)、輸送機器メーカーが展開する

鉄骨加工フォーラム

「鉄骨建築物の品質向上と先口ポイント」をテーマとして、23年度に開催される「鉄骨加工フォーラム」の概要や見どころを紹介する。



モンゴル工業技術大学(ウランバートル市)で日本式の高専専門学校(高専)教育導入事業が本格始動した。経済成長著しい同国では、ビル・橋梁などの建設ラッシュにわく、高専技術者・技能者の不足が深刻化する状況を踏まえ、高専を重視した教育が特徴となっている。昨年12月には、日本高専協会を通じ派遣された日本人技術者が高専の実習指導を行った。

モンゴル工業技術大学の中西佑二客員教授(モンゴルに日本式高専を創る文書の会代表代行)は、高専の不足が深刻な状況にある。高専の不足が深刻な状況にある。高専の不足が深刻な状況にある。



モンゴルで高専の実習指導を担当した小宮

モンゴル工業技術大学(ウランバートル市)で日本式の高専専門学校(高専)教育導入事業が本格始動した。経済成長著しい同国では、ビル・橋梁などの建設ラッシュにわく、高専技術者・技能者の不足が深刻化する状況を踏まえ、高専を重視した教育が特徴となっている。昨年12月には、日本高専協会を通じ派遣された日本人技術者が高専の実習指導を行った。

「要の溶接」は日本人講師が指導

モンゴル、日本式「高専」を導入

小宮義典、都立高専の協力を得て、同大学の西力に昨年10月、日本式高専モデルクラスを開設した。

現在モンゴルは日本の高専を模範とする環境で毎年GDP(国内総生産)が拡大し、鉱山開発や道路、建設などインフラ整備が進む。だが、技術者・技能者の不足が深刻であり、「機や建物の製造・建設など、高専技術者・技能者の不足が深刻な状況にある。高専の不足が深刻な状況にある。」

モンゴルは日本の高専を模範とする環境で毎年GDP(国内総生産)が拡大し、鉱山開発や道路、建設などインフラ整備が進む。だが、技術者・技能者の不足が深刻であり、「機や建物の製造・建設など、高専技術者・技能者の不足が深刻な状況にある。高専の不足が深刻な状況にある。」

「現場では日本から高専の先生が来て、注目を集め、日刊紙などに大きく取り上げられた。外気温が低い。現場では日本から高専の先生が来て、注目を集め、日刊紙などに大きく取り上げられた。外気温が低い。」



読者サービス株式会社
東京都中央区新富1-11-11
電話03-5561-1111
FAX03-5561-1111
東京都中央区新富1-11-11
電話03-5561-1111
FAX03-5561-1111



読者サービス株式会社
東京都中央区新富1-11-11
電話03-5561-1111
FAX03-5561-1111
東京都中央区新富1-11-11
電話03-5561-1111
FAX03-5561-1111

INDEX(今週10ページ)

水素特集 7~9面

日本経済再生の正念場となる今年、水素は原動力としての期待を背負っている。カギを握る水素は、エレクトロニクスの増産に注目が集まっている。水素は、エレクトロニクスの増産に注目が集まっている。

日本から中古実験機器等を貰い受ける

- 万能試験機・机・椅子等積んで到着
- 人力で教材の搬入作業を終えて



中学生へ巡回理科教室開催



モンゴルの「進学・留学フェア」で 「モンゴル高専」をPR!!

多くの中学生が関心注目



中西先生もブースへ入ってPR



中学校教師へも 理科教室



モンゴルでは有名人、KOSENは普通名詞



清水在モンゴル日本国特命全権大使が 「モデル教室」を訪問 2014.5.28



正式の高専へ

入学試験



合格証へサイン



入学式も日本式で(2014年 9 月)

壇上に来賓を迎えて



進行を陰でサポート



新入生のための合宿オリエンテーション 開催

スポーツ大会では綱引きも導入



高専とは



「北国の春」を指導

<https://www.facebook.com/video.php?v=708427612564649>

学校対抗日本の歌コンテストを応援



「モンゴル国 教育功労章」 受章(2014.10.1)



勲章と勲記



モンゴルコーセン教師参加(2015年)



産技高専寄贈ジャージで、全国大会3位入賞

モンゴルカラーでそのままバッチリOK

村中先生のご好意に感謝



八潮学園の先生もモンゴルへものづくり視察



卒業旅行でモンゴルへ行く都立産技高専 5年生の面倒も



モンゴル国エルベグドルジ大統領から「ナイラムダル(友好)勲章」を授与される(2015.9)



IETの名誉博士へ(2015.10)

記念 講演



名誉博士ガウンを



2年の任期を終えて日本へ(2015.10)

学生・教職員全員との送別記念写真



「モデルクラス」の学生達と



高専が高等教育機関として制度化 (2016.4)



高専機構が発表(2016.11)

か 5	総合/スポーツ	3
に 7	ズームアップ	5
楽 8 9	本よみうり堂	7
び 11	TV・ラジオ	8 9
	ペット 8	産況 4

夕刊

読賣新聞

11月28日 曜日

発行所 読売新聞東京本社 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 電話(03)3242-1111(代) www.yomiuri.co.jp

高専ノウハウ「輸出」

アジア・アフリカ 即戦力育成

政府は、5年間の実践的なカリキュラムで技術系人材を養成する高等専門学校（高専）について、アジア、アフリカなどの新興国に運営のノウハウなどを「輸出」し、現地で開設を促す、本格的な海外展開に乗り出す。11月にモントゴルで高専運営の支援窓口となる拠点を初めて設置した。12月にタイ、今年度内にはベトナムにも開設する。

拠点は、国立の高専を運営している独立行政法人・国立高等専門学校機構が設置する。同機構の日本人教員らが、相手国政府や高専のカリキュラムを導入するモデル校との調整を務める。現地の学生や教員の能力、求められる人材などを把握し、教材の開発や日本からの教員派遣などでサポートする。

政府としては日本式の教育システムで新興国の人材育成を助ける国際貢献を進めると同時に、現地の日系企業が即戦力の人材を雇用できるようにする狙いもある。

モンゴルでは2014年に日本をモデルにした高専3校が開設されている。支援窓口の拠点を介してカリキュラムの改善や教員の能力向上などを支援する。タイとベトナムでは、高専の新設を目指しており、大学

など高専と同等のカリキュラムを導入することも検討している。

安倍首相は8月下旬にケニアで開かれたアフリカ開発会議（TEICAD）で演説し、「コウセン（高専）」についてエンジニア養成専門の高等教育システムが日本にある。アフリカに、もつてくる」と述べて、高専を紹介し、アフリカ諸国での高専開設支援を約束した。文部科学省はモンゴルなどのアジア3か国での実績を先行事例として、アフリカなどで、さらなる海外展開を進める考えだ。

高専はこれまで、国際協力機構（JICA）の要請に応じて、教員の派遣や研修の受け入れなどの国際協力に取り組んできた。工業化の急速な進展により、技術系の優秀な人材を必要としている新興国からは、校舎を身に付ける職業訓練

校と学術研究を行う大学の中間的な日本独自の教育システムとして、高専は高い評価と関心を集めている。

教材開発や人材サポート

高等専門学校（高専）は、5年間の実践的なカリキュラムで技術系人材を養成する。卒業後（5年半）で技術者に必要な知識や技能を学ぶ高等専門学校。実績・実習に重点を置いたカリキュラムが特徴。高度成長期の1962年に産業界の要請を受けて設立され、現在は全国の国公私立57校に約6万人が在学している。

冬本番待つ シクラメン

※ 東京・瑞穂

色鮮やかに咲き、出荷が始まったシクラメン（28日午前、東京都瑞穂町で）。一飯島啓太郎撮影



三井化学鹿島工場の実験室や分析室の過半の機器材が「モンゴル高専」へ

時価に直せば、1億円



3日間、日暮れまで積み込み作業



日本企業でのインターンシップ (2017.7.8.～1か月)

面接試験(4年次の学生6人を選抜)



開始式



「モンゴル高専」がNHKテレビ番組の中に登場 !!

NHKテレビ番組「おはよう日本」
(25018.5.30)

<https://www.facebook.com/mongolkosen/videos/2077556892502386/>

NHKテレビ BS1国際報道番組「世界がわかる、明日が見える」(2018.6.18)

•

<https://www.facebook.com/mongolkosen/videos/2089647051293370/>

「モデルクラス」(第0期生)の学生15名
が、高専教育の全課程を修了(2019.2.23)



(デザコン2019 in Tokyo)に 「モンゴル高専」が参加出場

「優秀賞」



第1期生卒業式(2019.6)

帽子投げ

卒業証書授与



モンゴル高専第1期生 日本企業へ就職

モンゴル高専技術者1号

日本の支援で設立されたモンゴルの高専専門学校（高専）を卒業した期生が先月、品川区内の電気機器メーカーに就職した。ツゴバドラフ・ウランセフさん19で、ウランセフさんは「日本の科学技術を10年間は勉強したい。将来は母国に技術を導入して、モンゴルの発展に貢献したい」と意気込んでいます。

品川区は、技術者不足に悩む地元企業とモンゴル高専の学生との橋渡し事業を2014年から始めて、これまで約40人が事業を通じて来日したが、就職まで実現したのは今回初めて。ウランセフさんは、電気・電子材料で優秀な成績

品川のメーカーに就職

を修め、昨年度、勝亦電機製作所（品川区）の就業体験に参加した。「日本人は優しい、一生懸命、わからないことがあってもすぐに助けてくれる。そう感じて同社で働くことを希望するようになった。入社が決まり、技能実習生ではなく専門的な仕事である技術・人文知識・国際業務」の在留資格が認められた。同社の主力製品は、配電盤や工場用機械をコントロールする制御盤。自社工場でもオーダーメイドに対応できる技術力が強みだ。社員は設計、製造、プログラミング、メンテナンスといった技術を全て身につける。勝亦電機社長は、品川区の企業は、大卒でも難しかった製品の設計図を説明するなどの実践的な教育を受けている。一人前のエンジニアに育つ」と目を細める。

品川区によると、区内の製造業は17の会社（16

「日本で学び 母国貢献が夢」

年6月。金属、機械、印刷業者が多く、17年公表の区のアンケート調査では3割以上の業者が「人材育成」と「人材確保」を経営課題に挙げる。区産業・ものづくり課の山崎修二課長は「就労では学生の『売り手市場』が続いており、企業の手不足が深刻」とし、今後も事業主の卒業生の受け入れを進める方針。一方、工業化が進み、技術者確保が課題になっているモンゴルについても、メリットは大きい。

14年9月に校が設立されたモンゴル高専は、日本の高専と同じく、中学卒業後の5年間で技術者を育成する。機械工学や情報、CAD（コンピュータ利用設計）などの実践的プログラムを導入しており、卒業生は日本だけでなく、モンゴルの企業でも働いている。

都立産業技術専門学校の校長で、モンゴル高専理事長の中西佑一さん（70）は「卒業生たちは、母国の産業立国を担おうという高い志を持っている。日本の受け入れ企業は卒業生たちを育てる覚悟も持っている」と語っている。



品川区は、技術者不足に悩む地元企業とモンゴル高専の学生との橋渡し事業を2014年から始めて、これまで約40人が事業を通じて来日したが、就職まで実現したのは今回初めて。ウランセフさんは、電気・電子材料で優秀な成績



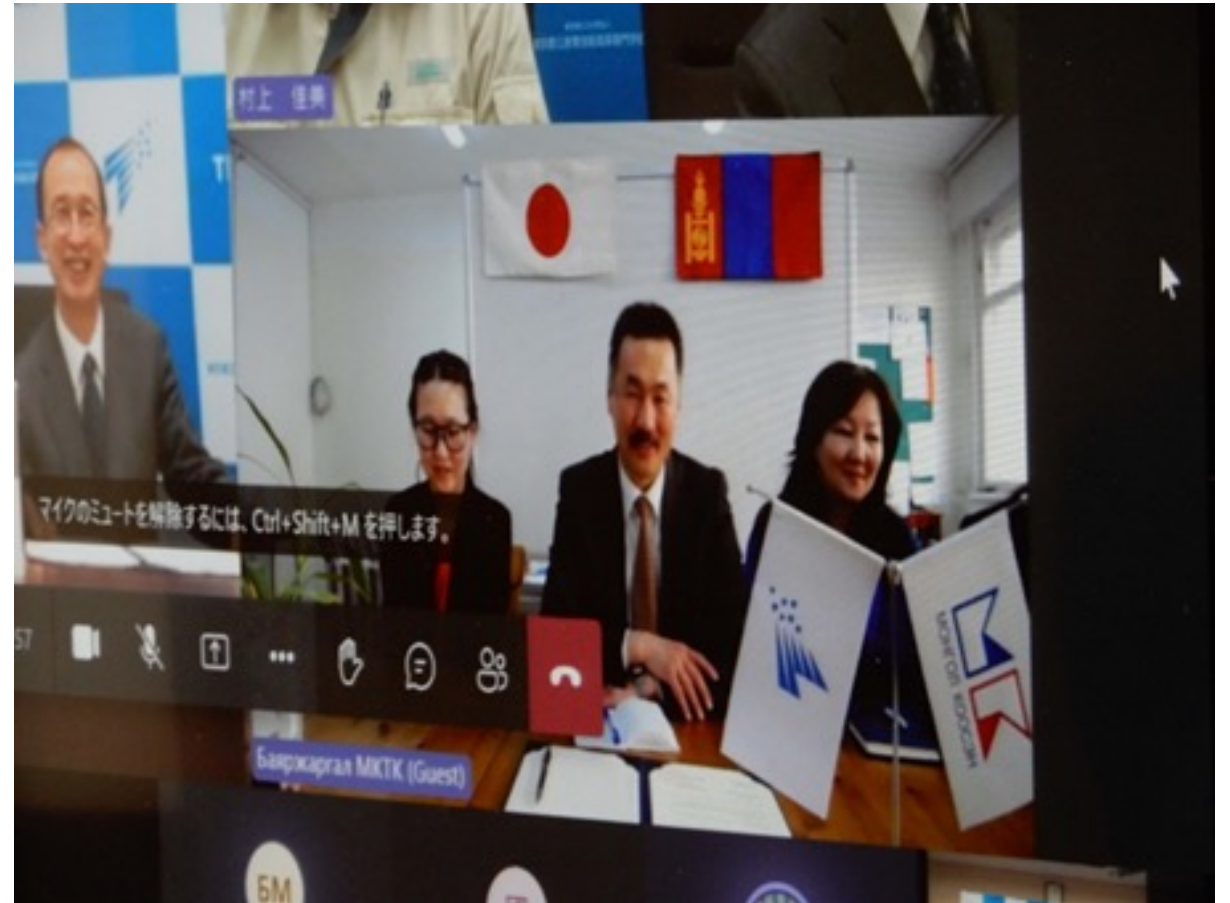
コロナ禍のため来日できず、ほぼ2年間
待ち望み続けて来ての来日(2期生)_{22/4}



在日卒業生スポーツ大会(2022.12)



産技高専とモンゴルコーセンでMOU締結 (2022.3.16)



モンゴル 3 高専創立 1 0 周年記念式典 2024.11.1



写真 1 司会の井上当会副代表理事



写真 13 主催者の中西代表理事挨拶

陛下をお迎え・お見送りする中に 中西先生の遺影がありました

モンゴルコーセン教職員



遺影を胸に澤田知之先生



中西先生お疲れさまでした。
ありがとうございました

